

今回のインタビューは、海田警察署長の角井正伸さんをお願いしました。角井署長には、就任に当たっての意気込み、地域住民の方々の安全・安心に対する取り組みについて熱く語っていただきました。

聞き手／久留島元生 委員



事件事故などの犯罪のない 「安全・安心」なまちづくりを目指して

広島県海田警察署長

すみ まさのぶ
角井 正伸さん

海 田警察署長就任に当たっての意気込みをお聞かせください。

海 田警察署勤務は十六年振り二度目で、当時は刑事課長として勤務させていだき、とても懐かしく喜んでます。これも何かの縁で、署長として署員とともに、地域住民の皆さまのご支援ご協力を得ながら治安維持の重責を果たしていきます。

自動車の後部座席でのシートベルト着用が義務付けられました。周知などの取り組みについてお聞かせください。

改 正道路交通法が本年六月一日に施行され、運転者は助手席以外の後部座席の同乗者にもシートベルトを着用させることが義務化されました。今後とも、街頭での交通指導取締りや交通安全教室、各種会合のほか、パンフレットの活用など、あらゆる機会を通じて広報をし、シートベルト着用の意識を高めていきたいですね。

地域住民の安全を確保するための、今後の取り組みはどうですか。

事 件事故などの犯罪のない「安全・安心」なまちづくりの実現を目指して、地域住民の体感治安の向上に努めます。



具体的な対策としては、まず。そのためには、警察と地域住民の皆さまとのコミュニケーションをより活発にして、さまざまな意見・要望をくみ取って素早く対応し、住民の不安の解消や諸問題の早期解決に努めます。

街 頭でのパトロール活動をはじめ、交通監視活動などを強化するとともに、地

域住民の皆さまとの挨拶、声かけなどの触れ合いを通じて、防犯意識、交通安全意識の向上に努め、皆さまが「安全・安心」を実感できるようにタイムリーな情報発信や指導取締りを積極的に行います。

住民が一体となって防犯活動に取り組むことが重要になっています。

事 件事故などの犯罪のない「安全・安心」なまちづくりを実現するためには、警察だけではなく、何と言っても地域ぐるみの活動が必要不可欠です。これからも自治体をはじめ防犯・交通関係団体や事業所などとの連携を密にし、ご理解ご協力を得ながら各種行事や広報活動などを積極的に推進し、「地域の安全はみんなで作るんだ」という地域の連帯意識をさらに高めていきたいと思っています。

安全で住みよい町づくりは町民の願いですからね。議会としても今まで以上の協力をしていきます。本日はお忙しいところ本当にありがとうございます。